

# 広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘  
編集 川口町役場総務課  
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

## 美雪園看護婦(士)採用試験のお知らせ

- 特別養護老人ホーム美雪園 —
- 一、採用人員 看護婦(士)一名
  - 二、受験資格 昭和36年4月2日から昭和44年4月1日までに生まれた人で、看護婦(士)免許を有し、実務経験2年以上の人。
  - 三、試験日時及場所 平成2年12月9日(日)午後1時30分から。特別養護老人ホーム美雪園(広神村和田)
  - 四、試験申込方法及期間 申込用紙を美雪園(☎三五九〇九三〇〇)に請求して下さい。
  - 五、採用予定日 平成3年4月1日の予定(具体的には採用予定者と別添協議します)
  - 六、その他 夜間勤務は原則としてありませんが、夜間拘束が3〜4日に1回あります。給与は概ね県立病院に準じます。
  - 七、不明の点は美雪園にお問い合わせください。

## 警察からのお願い

十一月十二日に「即位の礼」が十一月二十二日、二十三日に「大嘗祭」が執り行なわれます。これに反対して、爆弾事件や放火事件が発生しています。警察では、このような事件を起こさせないため、各所で検問を行っています。その際

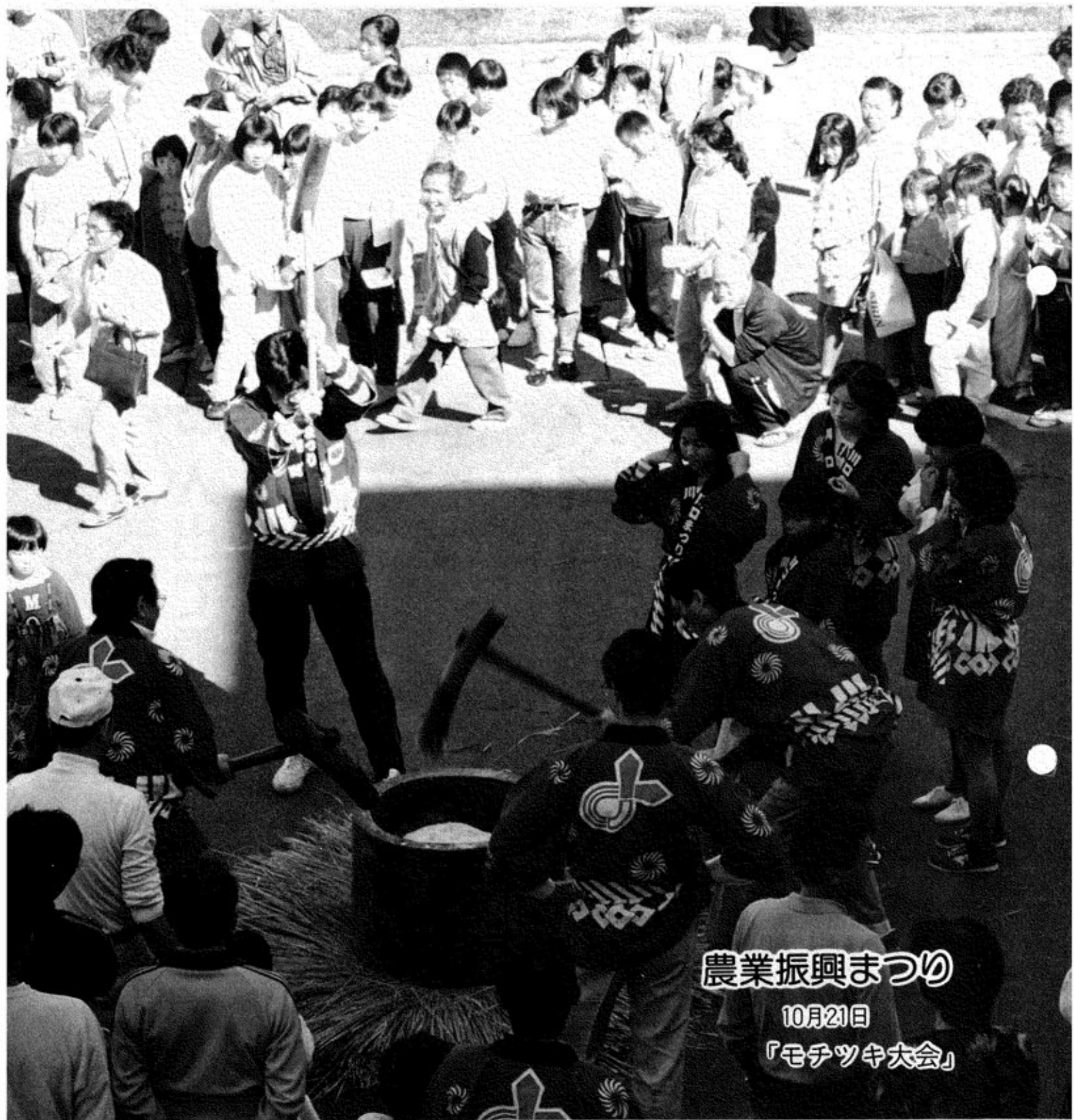
免許証や車内を見せていただくなど、ご迷惑をおかけすることもありますが、ご協力をお願いします。

また、不審な人や車(物)を見かけたら、警察までご一報ください。

情報は、小千谷警察署☎八二四一一、もしくは最寄りの派出所、駐在所まで。

## 「国の進学ローン」のご案内

- 利用できる方 高校、大学、専門学校等に進学される方のご父母(その他、親族又は進学者ご本人でもご利用いただける場合もある)
- 融資額 一進学者あたり一〇〇万円以内
- 返済期間 五年以内。但し大学・高等専修学院が四年以上の方は六年以内。(交通遺児家庭及び母子家庭の方は一年の延長ができます)なお、期間内で一年以内の据置きもできます。
- 保証 (財)進学資金融資保証基金の保証または保証人(二名以上)
- 返済方法 毎月元利均等返済(ご融資の二分の一以内でボーナス月増額返済、またはステップ返済もできます)
- 取扱期間 平成二年一月〜平成三年四月(郵送による申込みできます)
- 申込相談 国民金融公庫長岡支店・☎三六一四三六〇番へ。



農業振興まつり  
10月21日  
「モチツキ大会」

11月1日〜11月30日  
Sマーク普及促進月間  
くらしに安心の  
Sマーク

理容・美容・クリーニング店に掲げられているSマークは、厚生大臣認可の標準営業約款制度に従って営業しているお店のマークです。

Sマークのお店は、技術、施設、衛生など、約款に定める基準に従って営業しております。

また、万一の事故の際には、損害賠償基準により公平迅速な賠償をいたします。

新潟県環境衛生営業指導センター

人口	6,436人	平成2年11月1日現在
男	3,133人	
女	3,303人	
世帯数	1,514戸	

### おもな内容

農業振興まつり.....	2~3	高速道路感謝デー.....	9
西倉農用地利用組合が全国表彰.....	4~5	みんなのコーナー.....	10
町議会9月定例会.....	6~7	スポーツコーナー.....	12~15
秋の火災予防運動.....	8	お知らせコーナー.....	16~18

# 農業振興

# まつり

活力のある豊かな農業の町づくりをテーマに、十月二十一日(日)、農業振興まつりが、今年も盛大に行われた。



▲「優秀、優良農家」の表彰



▲アトラクション「歌謡ショー」と大当たり抽せん会



▲今年も豊作「宝船値段」あて



▲「サービスコーナー」は大繁盛



▲農産物の「審査」



▶「農産物」の大売出し



▲「農産物」の大売出し



▲「ふるさと料理工夫展」



▶「錦鯉品評会」



▲「アユ焼き」も好評



▶「親子」づれで……



▲農協婦人部による「手芸展」



▲町内産「和牛肉」の大特売



▲「植木・鉢物」即売

活力ある豊かな農業のまちづくりをめざして

## 終日人出で賑う

農業振興まつりは、今回で二十回を迎えた。今年も、水稲、園芸、養蚕など各部門における優秀・優良農家等の表彰をはじめ、農産物の品評会と大売出し、錦鯉品評会、町内産の和牛肉・豚肉・鶏卵の大特売、ふるさと料理工夫展、農協婦人部による手芸展、各種サービスコーナーが並び、

恒例のモチツキ大会も行われ大勢の行楽客で終日賑わった。この日は快晴に恵れて人の出足も好調。農産物の大売出しが始まると、人だかりができて、あっという間に売り切れた。また、オデン、焼肉、焼ソバコーナーも大繁盛、係の人ははてんでこまい。食欲の秋を満喫していた。そして、

野菜や果物などがいっぱいに積まれた宝船値段あての前ではお母さんたちが真剣に計算し、値段を書きこんでいた。また、サービスコーナーのポン菓子、綿あめコーナーは子供たちの人気の的、順番を待つ列ができ、ここでも係の人ははてんでこまいしていた。モチツキも二回行われ、ツキ

たてのモチを皆んなでおいしそうに食べていた。なお、午後からアトラクションが行われ、会場の福祉センター体育館は観客でいっぱい。歌謡ショーを楽しんだ。そして錦鯉品評会の役場庁舎前では、見事な泳ぐ宝石の觀賞に浸り、秋の行楽のひとときを過していた。

# 西倉地区 「西倉農用地利用組合」が 全国表彰に決まる

## 中核農家の育成等

## 地域農業の振興・活性化に貢献

このほど、当町の西倉地区「西倉農用地利用組合(組合長 関富雄)」が、優良地域農業集団として、全国表彰されることとなりました。

この表彰は、国の構造政策における重要課題の一つ、土地利用型農業の規模拡大と、生産性の向上を推進するため、全国構造政策推進会議が実施しているもので、全国の中核的担い手農家と高生産率な生産組織の育成を促進する等、地域農業の振興や活性化に貢献した「農業集団」や「営農集団」、「農用地利用改善団体」の優良事例の表彰を行い、その業績を通して、地域営農集団等の育成・活動に役立てようとして行われているものです。



▲西倉地区「桑巻ホ場」

今回、全国表彰されることとなった西倉農用地利用組合



▲西倉地区「岩平ホ場」

は、優良地域農業集団として県の代表として推薦を受け、中核的担い手の育成や経営規模の拡大、農作業の効率化、農用地利用度の向上、地力の増進など、その活動と成果が認められ、受表彰されるものです。

## 農地流動化により規模拡大

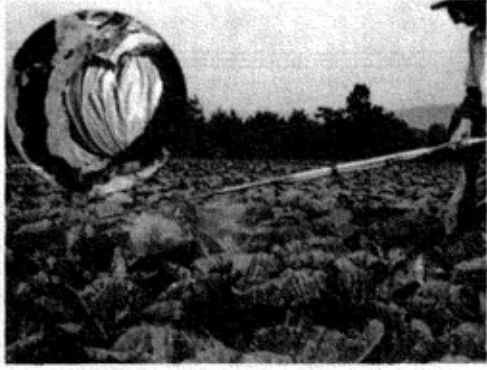
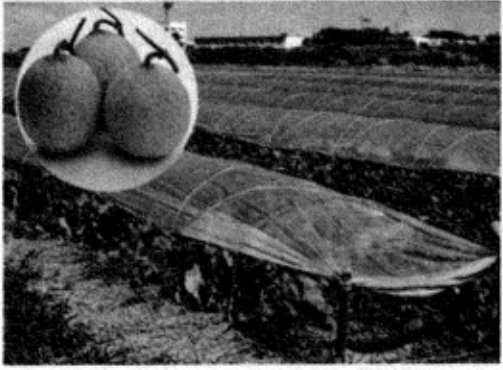
同組合は、西倉地区の全農家で組織され、昭和五十八年九月に設立し、同時に町の地域農業集団育成団体に指定さ

れた。同地区の経営耕地面積は、水稲と畑作を中心に四十六・七ha、一戸当たり一・七haで町の平均〇・八haの二倍となっています。このうち、六戸で十六haを耕作しており、この六戸の中核農家を中心に、これまで、兼業農家や高齢農家などにおける、小規模農地の利用権設定を図り、農地流動化による経営規模の拡大を進めてきています。ちなみに同地区の利用権設定率は二十五%で、県平均の六・九%を大幅に上回っています。

## 畑作を中心に「農業粗生産額」も県平均を上回る

主な作物は、水稲の他に、スイカをはじめメロン・アスパラ・シメジなど、畑作を中心に露地野菜やきのこの生産に力を入れ、農業粗生産額においても、一戸当たり約三百三十万円で、県の平均二百四十万円を大幅に上回っています。

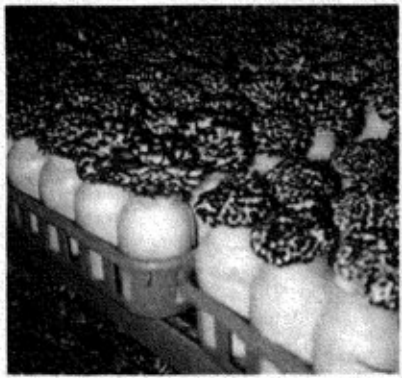
特にスイカは、「西倉スイカ」としてブランド化され、



町特産品として全国市場で高い評価を得ています。また、今年度から町を上げて取り組んでいる、新しい町特産品づくりの一つ、「モロヘイヤ」の生産にも力を入れるなど、水稲アスパラ畑作などによる「複合営農」を積極的に推進しています。

## 「農村基盤総合整備事業」が昨年度完成

一方、町では昭和五十四年「西倉地区農村基盤総合整備事業」を導入し、農業基盤整備と農村環境整備に着手、圃場整備をはじめ、農用地開発や農業用排水路、農道、集落道の整備、農村公園、集会所の建設など、生産基盤と生活環境



## 圃場の集団化に努める

この整備が行われ、昨年度(平成元年度)完成しました。

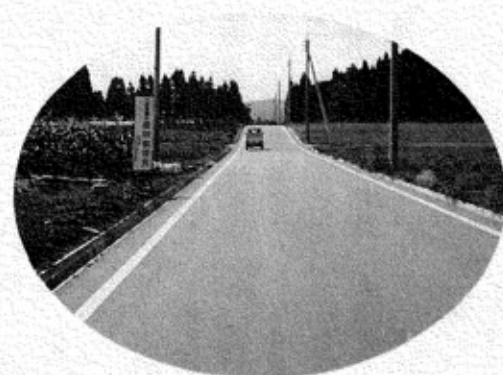
こうした中で、同事業に地区上げて取り組み、圃場の集団化を積極的に図るとともに、町内畜産農家と連携し、契約による堆肥の確保や土壌消毒機の共同購入などを進め、農作業の効率化に努めるなど、中核農家を中心に、高生産農家(プロフェッショナル農家)を目指して一生懸命取り組んでいます。

## 町農業振興に大きな期待へ

このように、経営規模の拡大による中核農家の育成や、農作業の効率化、農用地利用度の向上、地力の増進などに努め、町農業の発展に、同組合に大きな期待が寄せられています。

## 「コスト」ダウンにも努める

そして、農業経営にかかせないコスト(生産費)の低減を図るため、農業機械の共同利用はもとより、野菜苗の共同

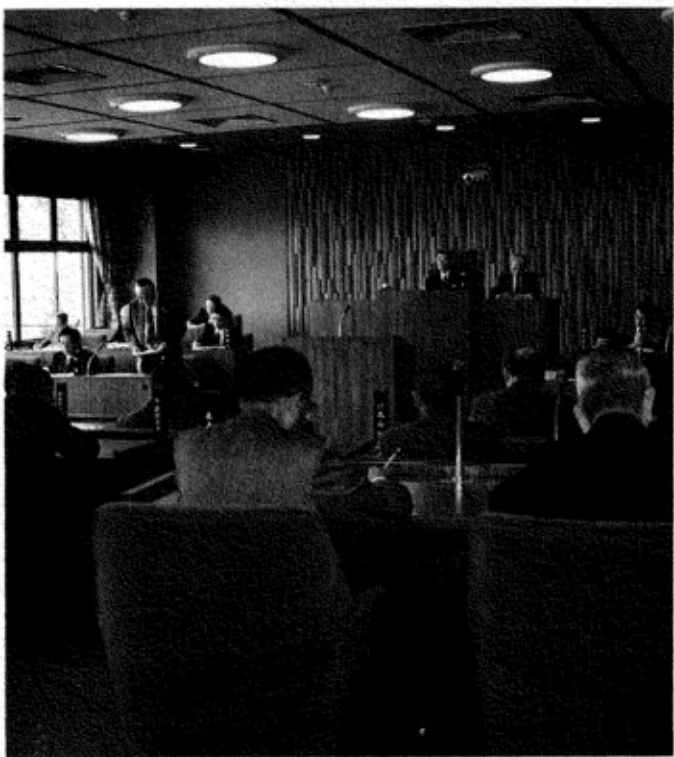


▲西倉地区「桑巻農道」

# 町議会九月定例会

## 平成元年度決算など 原案通り可決

九月二十八日(金)から十一日(土)の会期で開かれていた町議会九月定例会は十月九日、本会議を開き、各委員会に付託されていた平成元年度一般会計・特別会計及びガス事業会計決算の審査報告を行い、同決算を認定。また、この日提出された教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の



任期満了に伴う人事二件、工事請負契約二件の審議を行い原案通り可決。なお、初日本会議において、報告一件、請願一件、平成二年度一般会計補正予算などを可決。同定例会に上程された全議案が原案通り可決、採択されました。以下、概要は次の通りです。

- ◎議案第四十六号 平成元年度川口町一般会計歳入歳出決算認定について
- ◎議案第四十七号 平成元年度川口町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎議案第四十八号 平成元年度川口町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎議案第四十九号 平成元年度川口町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎議案第五十号 平成元年度川口町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎議案第五十一号 平成元年度川口町ガス事業会計決算認定について
- ◎報告第一号 長岡地域土地開発公社の経営状況について
- ◎議案第五十二号 川口町辺地総合計画の変更について
- ◎議案第五十三号 平成二年度一般会計補正予算(第二号)について
- ◎議案第五十四号 平成二年度川口町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)について
- ◎議案第五十五号 国民健康保険料の本算定による調整と保健指導用機器の購入などに要する経費の補正を行ったもので、歳入歳出それぞれ九千九百九十九万九千九百九十九円を増額し、総額を二十四億九千九百九十九万九千九百九十九円に、それぞれ四十五万九千九百九十九円を減額し、総額を二億七千二百六十一万一千九百九十九円を減額し、総額を二億七千二百六十一万一千九百九十九円に、それぞれ
- ◎議案第五十六号 平成二年度川口町公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)について
- ◎議案第五十七号 補助事業費の増加に伴い、工事費及び補償費の追加に要する経費の補正を行ったもので、歳入歳出それぞれ二千四百九十九万七千九百九十九円を減額し、総額を一億五千四百九十九万七千九百九十九円に、それぞれ
- ◎議案第五十八号 平成二年度川口町ガス事業会計補正予算(第一号)について
- ◎議案第五十九号 委託作業費等にかかる経費を調整したもので、収入支出の増減はなし。
- ◎議案第六十号 川口町教育委員会委員の任命について
- ◎議案第六十一号 川口町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ◎議案第六十二号 同委員(一名)の任期満了に伴うもので、渡辺茂(田麦山)氏が再任されました。
- ◎議案第六十三号 工事請負変更契約の締結について
- ◎議案第六十四号 公共下水道事業東川口汚水幹線下水道管渠布設工事の変更契約を行うもので、当初工事請負予定価格が三千万円以上により議会の議決を求めたものです。
- ◎議案第六十五号 工事請負契約の締結について
- ◎議案第六十六号 国の地域個性形成事業(国庫補助事業「国土庁」)の導入による、「ふれあい交流の杜造成工事」の契約を行うもので、工事請負予定価格が三千万円以上により議会の議決を求めたものです。
- ◎請願第四号 原爆被害者援護法制定の促進に関する陳情書
- ◎請願第五号 造血機能障害者対策の充実に関する陳情書
- ◎請願第六号 以上二件を採択。

### 教育委員に

内藤益郎氏(川口)

### 固定資産評価委員に

渡辺 茂氏(田麦山)

任期満了に伴う町教育委員会委員に内藤益郎氏(六十二歳)、固定資産評価審査委員会委員に渡辺茂氏(五十一歳)がそれぞれ任命されました。内藤氏は、教員として四十二年間在職、この間、中越教育事務所指導主事や小学校校長を歴任、昨年三月定年を迎えられた。今回初めて同委員に就任、任期は四年。渡辺氏は、昭和六十二年から同委員を務めており、今回再任(二期目)されたもので、任期は三年。

### 固定資産

評価審査委員会とは…

固定資産課税台帳に登録された事項(土地登記簿又は建物登記簿に記載された事項を除く)に関する不服を審査決定する機関です。委員の定数は三名です。

### 暮らしのポイント

これからは、鍋料理のおいしい季節になります。鍋料理に土鍋はつきものです。ところが、土鍋は重たく、質の柔らかい焼き物なので、ちよつとした不注意でもヒビが入り壊れやすいので、扱い方に気を使います。

### 土鍋の扱い方

**ぬれたまま火にかけない**

土鍋の外側は、素焼きのため、ぬれたまま火にかけると、ヒビ割れの原因になります。土鍋を洗って、そのまま火にかけないように、外側の水気をよくふき取るのを忘れないようにしましょう。また、土鍋は、使っているうちにヒビが入ってきます。多少のヒビ割れなら、土鍋でおカユを煮るか牛乳を沸かすと、細かいヒビにでんぷん質やたんぱく質がしみ込み、接着剤の役目をするため、ヒビ割れが大きくなるのを防いでくれます。使い終わった土鍋は、中にきれいにする程度の感じで洗きましょう。外側や鍋の底を、力を入れてゴシゴシ洗うと、ヒビ割れの原因になります。土釜は、乾燥した場所にしまっておくこと。湿った場所に置くと、嫌なにおいがつくことがあります。



### 省エネルギーを心がけよう

イラクをめぐる国際情勢を踏まえてわが国は八月五日以降、イラクとクウェイトからの石油輸入を禁止しています。わが国は、イラクとクウェイトから、全原油輸入量の約一二%を輸入しています(平成二年度上半期)が、現在、国内には百四十二日分の石油備蓄があります。また、世界的にみても相当量の備蓄があり当面、国内の石油需給に影響が出ることはないと考えられます。

しかし、イラク・クウェイト紛争が長びき、両国からの石油輸入停止などの禁止措置が長期化するにせよ、石油価格はもとよりわたしたちの生活に影響が出ることも懸念されます。

こうした事態に対応して、国では、次のような家庭での省エネ対策を呼びかけています。ご協力をお願いします。

- ①照明や冷暖房のスイッチはこまめに切る。
- ②レジャーに出かけるときは鉄道、バスなどの大量輸送機関を利用する。
- ③マイカーは、経済運転(高速道路での速度は、おおむね時速八十キロメートル)による走行を心がける。

秋の火災予防運動(十一月九日～十五日)

# お年寄りや子供を火災から守ろう

十一月から三月にかけては、一年のうちで最も火災の多い季節です。  
今年も十一月九日(金)から十五日(木)まで、「まず消そう 火への鈍感 無関心」を統一標語に、秋の全国火災予防運動が行われます。

## 六分間に一件の割合で火災発生

約五万六千件——これが平成元年中に全国で発生した火災の件数です。時間にとると、ほぼ

六分間に一件の割合で火災が起きていることになりました。また、火災による死者は、千七百四十七人で、一日当たり五人もの尊い生命が失われたことになりました。

## 死亡原因の約三割が「逃げ遅れ」

火災で亡くなる人の三人に一人は、「逃げ遅れ」によるものですが、「逃げ遅れ」の原因としては、次のようなことが考えられます。

▼火災に気付いたときには火災にまかれ、逃げ道がなかったか、まったく気付かなかった。

▼判断力に欠けていた(泥酔など)か、あるいは体力的な条件が悪かった(病氣など)

▼火の回りが早く、ほとんど避難できなかった。

▼逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失った(消火しようとして煙に巻かれるなど)

▼避難行動に入っていたが、逃げ切れなかった。

こうした「逃げ遅れ」を防ぐには、何よりも早く火災に気付くことです。とはいえ、火災はわたしたちが目覚めているときばかり起こるとは限りません。事実、焼死する事故が多いのは寝ている間の午前一時ごろから

## まず消そう 火への鈍感 無関心



## 「一九番」に通報するときの心得

十一月九日は、「一九番の日」です。「一九番」に火災発生を通報するとき、場所や状況を正確に伝えることはなかなか難しいものです。しかし、消火活動は一刻を争います。通報

が遅かったり、場所の説明が適切でなかったりしたために消防車の到着が遅れ、被害が大きくなった例も少なくありません。「一九番」は、落ち着いて正確に——。



と、六十五歳以上のお年寄りとお年寄りの割合を示しています。お年寄りの場合は、寝たばこの不始末から就寝中に寝具に火が燃え移り、煙に巻かれるケースや、一人でたき火をしていて着物に火がつき、体が不自由なために消すことができなかったなど、悲惨な例がみられます。一方、幼児の場合は、親の留守中に火災が発生し、逃げ出せなかったなどの痛ましいケースが報告されています。

お年寄りや子供、体の不自由な人、病人を火災から守るためには、家族はもちろん隣近所の援助や協力が大切です。幼児やお年寄りだけを残して外出するのは、できるだけ避けたいものです。やむを得ない場合は、必ず隣近所に一声かけて出かけるようにしましょう。

## 高速道路感謝デー

### ハート&サービスで

# 町郷土芸能などを披露

十月七日、八日の二日間にわたり、越後川口サービスエリア(上下線)で、高速道路感謝デー・ハート&サービスが行われ、当町から、町の文化財「小高棒踊り」や民謡などの郷土芸能を披露した。

これは、道路公団が主催し高速道路利用者に感謝しよう

と、毎年実施しているもので沿線市町村の郷土芸能をはじめ、朝市コーナー、特産品割引コーナーなど、各種イベントが企画され、訪れた観光客などで賑わった。



▲「小高棒踊り」地元小高棒踊り保存会の皆さん



▲「越後秀和」会の皆さんによる踊り



▲「錦鯉」を買い求める観光客ら



## 税の泉

# 高齢期の生活

「あなたは、ご自分の高齢期の生活について考えたことがありますか」——

これは、総理府広報室が昨年9月に実施した世論調査、「高齢期のライフスタイル」についての質問の一つです。

この調査の対象となったのは、全国各地から、無作為に選ばれた30歳以上の男女。回答を寄せた3,830人のうち、この間には約70%が「考えている」と答えています。

### ▶平均的な「高齢期観」は健康と蓄え

では、どんなことについて考えているのでしょうか。

これに対しては、「自分の健康や医療、介護に関すること」「年金や老後の蓄えに関すること」の二



人生80年  
年金

つが飛び抜けています。人生80年時代の長い老後、「年齢にとらわれず自由に自分の生き方を考えて主体的に活動する」ことを目指す一方で、いざというときの備えもきちんとしておきたいというのが、平均的な「高齢期観」のようです。

### ▶所得税の公的年金等控除額が引き上げ

ところで、平成2年度から、所得税の公的年金等控除が引き上げられました。「ここまでは課税されない」という最低保障額は、65歳以上の人は140万円(改正前120万円)、65歳未満の人は70万円(改正前60万円)。

長い老後の生活を支える柱となるのは、まず公的年金。今回の控除額引き上げも、そうした受給者への配慮を充実することを目的に行われたものです。

# みんなのコーナー

西部会 (西川口)

## 「音頭取り育成会」の 研修巡拝

「ヨーオイ、サーアテ、ガッテンダ……で始まる盆踊りの「ヨイヨーサ」。西川口「西部会」ではこの音頭取り育成会を造り、後継者の養成をしています。

昭和五十一年に発足の会員は二十名余

将来、音頭を取る人がいなくなるのではないかと案じられる中で、昭和五十一年にこの会が発足し、今では二十名



▲西部会「音頭取り育成会」のみなさん  
巡拝先・長岡蔵王金峰神社で

余の会員となり、川西神社の盆踊りが盛大に行われている。栃尾の秋葉様などを訪ね盆踊りを奉納

この育成会が、過日研修旅行を行い、栃尾の秋葉様(秋葉神社)・蔵王の観現様(長岡金峰神社)・国上の国上寺様(分水町)・

今、各地で村おこし運動が盛んである。私達は、古くから歌い継がれてきた郷土の歌を残すとともに、歌や踊りを通じてふる里に愛着を持ち、人と人との結びつきを大切に



▲「盆踊り」を奉納 (分水町国上寺で)

弥彦の妙多郎様(妙多羅天)を巡拝し、四寺社の広前で盆踊りを奉納して喜んで頂いた。特に、長岡の権現様では神殿の中で踊りを奉納させて頂き、感激の至りであった。新潟県民俗学会理事の新宮璋一氏(西川口新敷)からは旅行の葉を作成して頂き、各神社の参拝に大変参考になった。また、道中では盆踊り甚句の歌唱指導会が行われ、日本銘水百選の中の栃尾トドの森のわき水をみやげに帰宅した。

●訪問販売で、商品等を購入した場合には、それがほんとうに自分が必要かどうかを冷静に考えるための期間が法律によって与えられています。

●商品等を購入した際、業者から所定の事項を記載した書面が交付されます。この書面を受け取った日から八日以内であれば無条件で解約することが出来ます。これがクーリング・オフ制度です。

クーリング・オフ  
ご存じですか?

●クーリング・オフは、簡易書留や内容証明郵便などの書面で行ないます。

●次のような場合はクーリング・オフはできません。

- 書面を受け取った日から九日以上経っているとき
- 消耗品の一部を使っているとき
- 買った場合
- 総額が三千円未満の現金取引の場合
- 乗用自動車の場合

## ごはん・お米とわたし作文コンクール

### 県優良賞に 山崎里恵さん(田麦山小)

「ごはん・お米とわたし」をテーマにした県作文図画コンクールの作文の部門で、田麦山小学校六年山崎里恵さんが優良賞に選ばれ、新潟市内のホテルで行われた表彰式で里恵さんに賞状が渡されました。

このコンクールは、県農協中央会と米消費拡大推進協が主催、県教育委員会などが後援で実施され、家庭の食事や学校給食、ごはん・お米への興味と理解を深めることを目的として今年で十五回目。里恵さんは小学校高学年の



▲「表彰」をうける山崎さん

の部で「毎日がごはんの日」と題する作文に、ふっくらと炊けた白いごはんが大好き、最近パン食が多く日本独特のごはんを食べる人が少なくなってきた、さびしい、もう一度ごはんを見直してほしいと、よびかけました。

川口中学校に英語授業のアシスタントとして、アメリカ出身のロビン・サカナシさんが配属され、二学期から教室に入っています。

英語指導助手は、県教育委員会が、英語を母国語とする外国青年を招致、英語教育の改善と国際理解の推進のために、県内の主な高校と教育事務所に配属したもので、ロビン・サカナシさんは中越教育事務所に配属されて川口中学

校、片貝中学校、小国中学校を担当します。

アメリカ生れの日系三世  
日系三世

ロビン・サカナシさんはアメリカ生れの日系三世、祖母が日本人で日本をよく理解しており、気さくで明るい二十一歳の女性。週一回水曜日に来校して英語教師と一緒に教室に入り、本場の生の英語で話しかけています。いまは

## 川口中に 英語の指導助手着任 ロビン・サカナシさん



▲教室で話かける  
ロビン・サカナシさん

三年生を中心に授業していますが、ゆくゆくは全学年を対象にしたと学校側では予定しています。

生徒たちは、英語だけでなく国際的な知識を学び取ろうと関心をもって接しているようです。

## 「たくあん」は、晩秋にとれた大根を干してから、塩と糠で漬ける漬物。語原としては、「貯え漬」がなまったとみられる説、沢庵和尚が始めたという説、沢庵の墓の形が重しに使う石に似ていたためとする説などがあって、定説はありません。

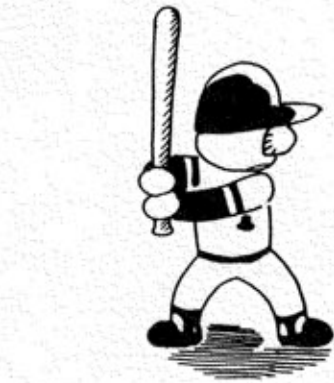
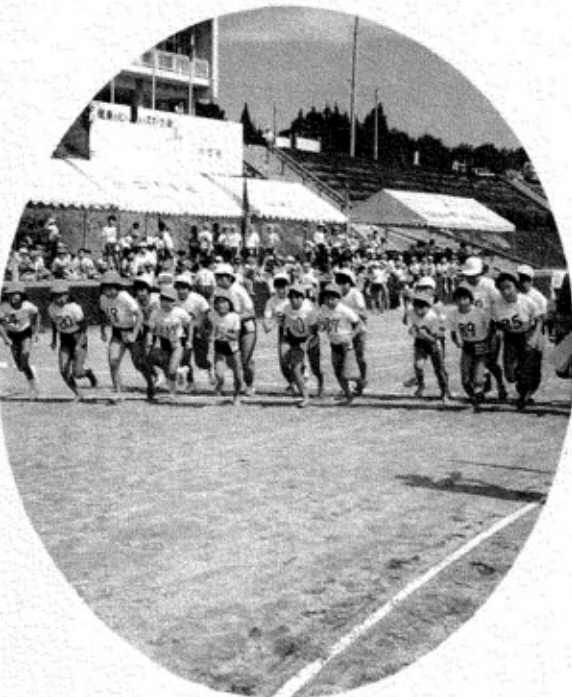
江戸初期の禅僧沢庵は、品川の東海寺を建てた名僧。俗説にすぎないとしても、たくあん漬けが沢庵和尚と関係づけられてきたことは確かでしょう。というのも、坊さんの名前が付いた食べ物があるから、例え「いんげん」もその一つです。きんとんなどにする「隠元豆」は、日本黄檗宗(禅宗の一派)の開祖となった中国の禅僧隠元が、明からもたらしたものとされています。

名僧・高僧といえれば近付きがたい存在ですが、食べ物に付いた名前だと、なんとなく身近な感じになるようです。

### スポーツの町宣言



▲「開会式」 (キャンパス川口陸上競技場で)  
▼「女子800m」スタート



東部ファイターズは、今年  
は好調で春の郡大会でも好成  
績をあげるなど、郡レベルで  
上位につける実力を身につけ  
たようです。

**町内小学校**  
**親善陸上大会**  
競技力(走る・跳ぶ・投げる)の  
向上を狙いに  
九種目  
二十八競技に挑戦  
町内の小学校五、六年生に  
よる親善陸上大会が、キャン  
パス川口陸上競技場で開催さ  
れ、四力校の児童はスポーツ  
をとおして交流を深めました。  
この大会は走る、跳ぶ、投  
げるの三部門を毎年同じ種目  
で記録を比較して競技力の向  
上をねらっており、今年は二  
十五回目。  
参加した二百人の児童は、  
四百メートルトラックに整備  
された新しい競技場で、はつ  
らつと九種目二十八競技に挑  
戦して三つの大会新記録が生  
れました。各種目の一位入賞  
者は次のとおりです。

### 各種目の一位入賞者は次のとおり

走高跳	6年男 星野貴之 川口	6年男 星野貴之 川口
5年男 小林正樹 川口	女 星野美弥子 川口	800m走
女 角張恵美 川口	5年女 内山たか子 田麦山	6年女 森山智子 田麦山
6年男 前沢孝一 泉水	6年女 森山智子 田麦山	1,500m走
女 佐藤千春 田麦山	5年男 中林拓也 川口	6年男 桜井俊行 田麦山
走幅跳	5年男 関裕樹 川口	6年男 桜井俊行 田麦山
5年男 関裕樹 川口	6年男 桜井俊行 田麦山	80mハードル走
女 内山たか子 田麦山	6年男 桜井俊行 田麦山	5年男 関裕樹 川口
6年男 小宮山裕久 川口	5年男 関裕樹 川口	女 真島文恵 川口
女 森山智子 田麦山	女 真島文恵 川口	6年男 広井泰明 川口
ポールスロー	6年男 広井泰明 川口	女 佐藤宏美 川口
5年男 吉川武志 川口	女 佐藤宏美 川口	400mリレー
女 綱純子 泉水	5年男 川口小A	女 川口小A
6年男 覚張祐樹 川口	5年男 川口小A	6年男 川口小A
女 宮小百合 泉水	6年男 川口小A	女 川口小A
100m走	5年男 浅間敏一 川口	6年男 川口小A
5年男 浅間敏一 川口	女 桜井ひとみ 田麦山	女 川口小A

**郡小学生野球大会**  
**東部ファイターズ**  
が三位に!!  
小出町ライオンズクラブが  
主催の、ライオンズ杯第二十  
七回北魚沼郡小学生親善野  
球大会で、当町の少年野球チ  
ーム東部ファイターズが三位に  
入賞しました。  
この大会には小出郷を中心  
に二十チームが参加、当町か  
らスポーツ少年団の四チーム  
が出場し、東部ファイターズ  
は苦戦して上位入賞をはたし  
たものです。  
東部ファイターズは、今年  
は好調で春の郡大会でも好成  
績をあげるなど、郡レベルで  
上位につける実力を身につけ  
たようです。

### スポーツの町宣言

◆陸上	2年 3位	小 見 聖 仁	小 見 聖 仁
100M	1年 2位	井 井 井 井	井 井 井 井
200M	2年 3位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
400M	2年 2位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
800M	1年 3位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
1,500M	2年 3位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
3,000M	1年 2位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
100MH	2年 3位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
砲丸投	2年 2位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
◆排球	女子 3位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
◆野球	男子 3位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
◆庭球	団体男子 優勝	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
	団体女子 3位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡
	個人男子 3位	岡 岡 岡 岡	岡 岡 岡 岡

## 郡中学校 新人陸上・球技大会 庭球男子が団体優勝



▲「選手宣誓」をする川口中選手

郡内中学校の二年生と一年  
生を対象とした新人陸上、球  
技大会が、郡内各町村の分散  
会場で開催され、川口勢は、  
軟式庭球の団体男子が四戦全  
勝して優勝をかざりました。  
当町では陸上大会が行われ、  
キャンパス川口の新しい陸上  
競技場が会場となり、四百メ  
ートルトラックにとまどいを  
みせた選手もあつたようです  
が、大会タイ記録、新記録が  
出ています。川口中学校の成  
績は次のとおり。



▲「レディースソフトボール大会」  
8チームを代表して「選手宣誓」



▲一般、中学生80人が参加して熱戦が  
繰り広げられた。「町民テニス大会」

**優勝は 東部地区館!!**  
地区館対抗の第三回レディ  
ースソフトボール大会には八  
チームが参加、東部地区館チ  
ームが三年連続の優勝をはた  
しました。  
大会は約百六十人の選手が  
出場し、ブロック別の予選リ  
ーグと順位決定リーグを行い、  
各チームとも事前の練習で技  
術も向上して好ゲームがみら  
れました。

**町民テニス大会**  
町民軟式テニス大会はキャ  
ンパス川口テニスコートで開  
催され、一般と中学生で八十  
人の選手が参加して技を競い  
好ゲームを見せました。上位  
入賞は次のとおり。

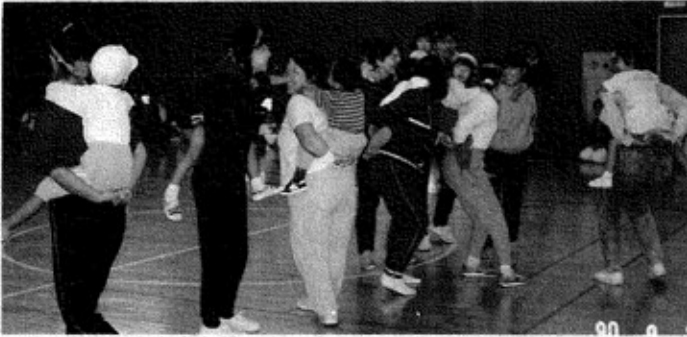
◆一般男子	優勝 阿部純一・星野正則組
二位	中林喜弘・渡辺博組
三位	山田俊則・古田島正組
◆一般女子	優勝 星野照代・中林和子組
二位	相沢みよ子・藤木幾代組
三位	佐藤クニ枝・本間純子組
◆中学男子	優勝 山崎学・森山俊行組
二位	和田恵一・小見清志組
三位	関和紋・大淵義展組
◆中学女子	優勝 片山智子・小林香織組
二位	綱寛子・保科峰子組
三位	駒形美恵子・桜井由美組



▲「田麦山保育所」



▲「西川口保育所」



▲「上川保育所」



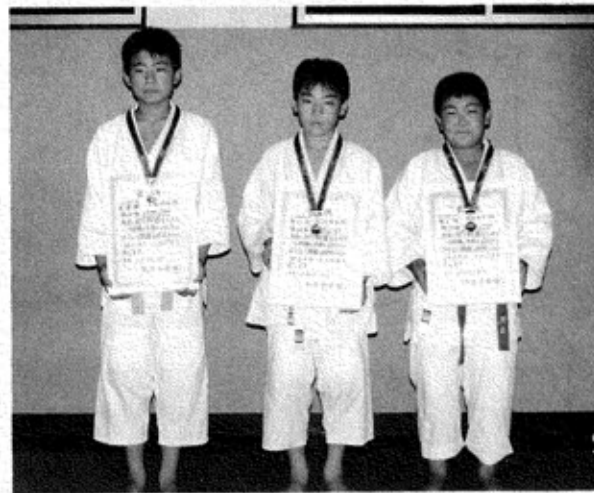
▲「東部保育所」

### 親子でふれあい 各保育所で運動会

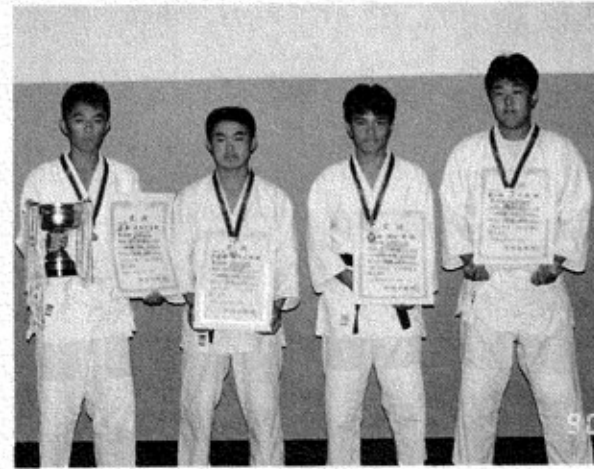
九月三十日、町内四カ所の保育所で運動会が行われた。各保育所が、「家族全員参加のうんどう会」、「親子で楽しむうんどう会」など、それぞれ特色を出して、家族ふれあいの楽しい運動会が繰り広げられた。

この日はあいにくの雨で、屋内での運動会となった。でも、子どもたちは元気いっぱい走り回り、親子ゲームやレースにチャレンジ、そして、この日のために練習を重ねてきた遊戯を、お母さんやお父さんらに一生懸命披露していた。

### スポーツの町宣言



▲左から 渡辺、阿部、黒島の小学生選手



▲左から 大淵、喜多村、渡辺、原の中学生選手

北魚・小千谷市  
柔道選手権大会

## 少年柔道会が大活躍!! 上位入賞を独占

第二十八回北魚沼郡・小千谷市柔道選手権大会で、川口少年柔道会の選手が大活躍、小学生高学年の部で二位と三位に入賞、中学生の部では一位から三位までを独占、圧倒的な強さをみせて輝かしい快挙をなし遂げました。

大会は入広瀬中学校を会場に、郡市の小学生から有段者まで二百二十人の選手が参加して技を競い、当町からは少年柔道会の小中学生三十三人の選手が出場。小学生高学年の部では、ベスト四に当町選手が三人残り、優勝こそ逃したものの好成績をあげました。中学生の部では、参加七十八人中当町選手は十三人、ベスト八に川口勢が六人残り、他をよせつけ強い強さをみせて上位独占入賞をはたしたものです。

入賞選手は、十一月四日に十日町市で行われる二市三郡の柔道大会に出場することに

なっており、その活躍が期待されるようです。

入賞者は次のとおり。

▼小学生高学年の部 (五・六年)

二位	渡辺祐也(川口四)
三位	阿部智也(川口五)
〃	黒島正登(川口二)

▼中学生の部

優勝	大淵忠明(野田)
二位	喜多村裕(上河原)
三位	渡辺 葵(中山)
〃	原 芳樹(上河原)

### 町民ゲートボール大会

## 川口第二クラブが優勝!!



第十五回町民ゲートボール大会は、キャンパス川口多目的広場で開催され、川口第二クラブが優勝しました。

大会には十六チームが参加、予選リーグの上位チームが決勝トーナメントに進む方式で行われ、川口第二クラブが町長杯を手中にし、準優勝の荒谷クラブは初めての入賞をほたしました。

成績は次のとおり。

優勝	川口第二クラブ
準優勝	荒谷クラブ
三位	田麦山第一クラブ

### サン・ローラ川口

## 無料解放します!! 是非おでかけ下さい

サン・ローラ川口では、利用者への感謝と、施設へのより理解と親しみを増していたら、次により施設を無料開放いたします。また、この九月にオープンした「キャンパス川口」のご案内もいたします。

バスで送迎いたします。ご家族そろってお出かけください。お待ちしております。

サン・ローラ川口(新潟建設労働者研修福祉センター)は、昭和六十一年十月にオープン、今年で四年目を迎えました。企業等の社員研修、各種会議をはじめ、結婚式や会合など町内外の大勢の人たちから利用され、利用者は年々増えています。昨年は二万人を超える利用者がありました。

### —お待ちしております—

- 解放日時  
11月15日(木) 午前9時～午後4時  
※2階和室広間、浴室を無料解放、3階大研修室ではビデオ放映も行っています。
- 送迎バス  
次により運行しますのでご利用下さい。
- マイクロバス1号車
  - 9:00・田麦山農協前→9:15・川口小学校前→サン・ローラ川口
  - 9:40・西倉集荷場前→9:45・西川口小西屋前→9:50・岩出原十字路→サン・ローラ川口
- マイクロバス2号車
  - 9:00・相川集落センター→9:10・貝之沢農協スタンド前→9:15・福祉センター前→サン・ローラ川口
  - 9:45・和南津喜多村商店前→9:50・中山信号十字路
  - 10:15・木沢小学校前





去る十月七日(日)、魚沼漁協川口支部の皆さんによって、魚野川、信濃川沿いのクリーン作戦が展開された。

夏場からの釣りシーズンも一段落。大公望や川辺での行楽でにぎわった所などを巡回して、捨てられたあき缶やゴミなどを一掃、河川美化運動



に一役買おうと、同支部が毎年この時期に行なっているもので、この日朝早くから支部の人たち約百名が参加して、川原や土堤などにポイ捨てされたあき缶などを、袋いっぱい拾い集めていた。

なお、町内においては、環境衛生組合の人たちによる町内クリーン作戦や、学校・PTA、老人クラブ、子供会などによって地域のクリーン作戦も毎年行われています。

近年、あき缶のポイ捨てが大きな社会問題となっており、ちよつとした心づかいとマナーがきれいな町づくりの一步となります。皆さんで心がけましょう。

## 河川クリーン作戦!! 河川美化に一役

魚沼漁協川口支部

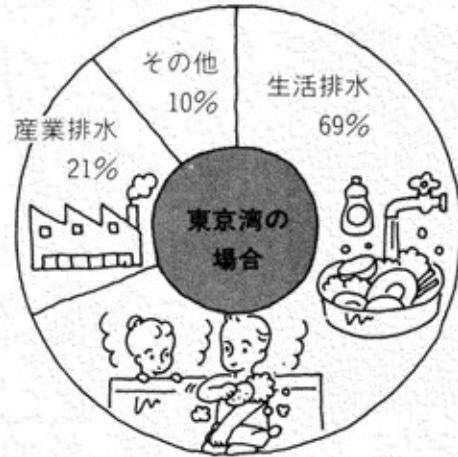
# 川や海を汚している張本人は わたしたちです

水質汚濁対策は家庭から

いま、河川や海の水質汚濁が問題になっています。水質汚濁の原因というと、工場などからの産業排水を連想しがちですが、実は家庭から出る生活排水(し尿を含む)によるところが大きいことはあまり知られていません。

東京湾を例にとると、汚

水質汚濁の原因(発生源別)



れの原因の約70%が生活排水なのです(グラフ参照)。

これは、海や河川をきれいにしてくるのは“わたしたちの心がけ次第”ということにほかなりません。

そこで今回は、生活排水の現状をみながら、家庭でできる生活排水対策を考えてみましょう。

## 家庭から出る生活雑排水の多くが 未処理のまま河川や海にたれ流し

わたしたちは、炊事や洗濯、ふろ、トイレなどに一人一日二百五十〜三百リットルの水を使い、さまざまな形で川や海などに流しています。

この生活排水を、BODという汚れの度合いを測る指標でみ

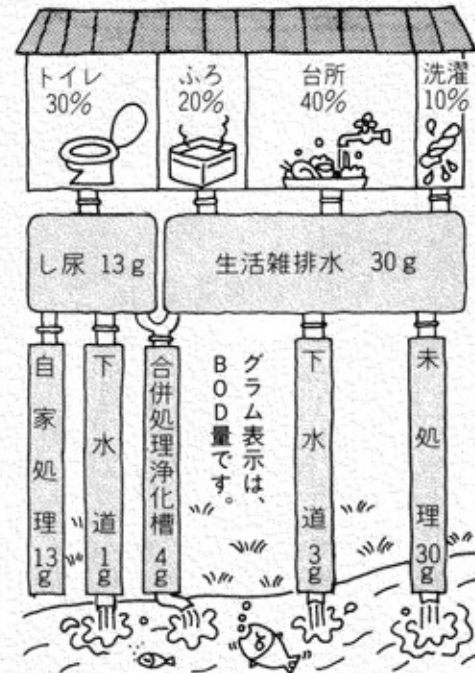
てみましょう。し尿から出るBOD量が、一人一日当たり十三gなのに対し、炊事、ふろ、洗濯などに伴う排水(生活雑排水と呼びます)から出るBOD量は三十gにもなるのです。

しかも、法律で未処理のまま

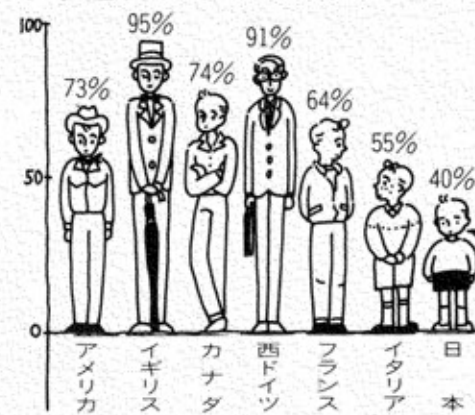
放流するのが禁止されているし尿に比べ、生活雑排水にはこのような規制がありません。

また、わが国の下水道普及率はわずか四〇%です。残り六〇%は、未処理のまま河川や海にたれ流されているのが現状です。

生活排水の汚れ具合



下水道普及率の諸外国との比較



昔から「三尺流れて水清し」といわれます。これは、水中の微生物が河川に流れてきた汚れを浄化していく作用(河川の自浄作用といえます)を表したものです。

### 「BOD」ってなんだろう

ところで、微生物が汚れを浄化する際、水中の酸素を消費するときに必要な酸素の量を示したものです。水が汚れていれば、浄化に必要な酸素の量もそれだけ増えるというわけです。河川の汚れ具合を表す指標の一つであるBODは、

## 雇用保険「さわやか受給」推進月間 ルールを守って正しい受給を

雇用保険の失業給付を受けている人は、正しい申告をします。仕事に就いたにもかかわらず、申告せずに失業しているとして、不正に失業給付を受けるといった不正行為が、依然として後を絶たないのが現状です。

### 求職活動を 行う場合の援助金

雇用保険の失業給付は、労働者が失業した場合、その人の生活を安定させ、求職活動に専念できるように、また、早期に再就職できるように支給されるものです。また、離職すれば、必ず支給されるものではありません。求職活動を行う場合にのみ、それを援助するために支給されます。

- 就職や就労の事実を隠したり、偽った申告をしたりする。
  - 就職や離職の事実がないのに、架空の届け出や申告を行う
  - 内職や手伝いをして得た収入を隠したり、偽った申告をしたりする
  - 失業の認定を他人に受けさせる
- 虚偽の記載をした離職票を用いる
- 各種証明書を、偽造または改ざんして提出する
- こうした不正行為は、コンピュータによる検出や安定所の調査、さらには外部からの情報提供により必ず発見され、不正受給金の倍額返還などの重い処分を受けます。しかしこのよう不正は、なかなか減りません。労働省では、十一月を「雇用保険「さわやか受給」推進月間」と定めています。受給資格者および事業主をはじめ、広く皆さんに雇用保険制度を正しく理解していただき、ルールを守って受給するよう、啓発活動などを行うのが目的です。

不正行為には  
倍額返還などの重い処分  
不正受給とは、本来、失業給

